



〈本年度の活動について住民自治協議会会長、各部会長から報告します〉

「人間、^{はや}囃されたら踊れ」

大豆島地区住民自治協議会会長 保谷 辰夫

この一年が漸く終わります。

自分にとってのこの一年は、何だったろうかと振り返りました。大豆島に暮らすようになって44年です。若い時に大豆島消防団に参加したり、公民館の行事に加わりましたが、中心的な存在ではありませんでした。

この一年、あらゆる行事の企画から運営実施までそれぞれの担当者と時間をかけて企画、検討、判断、と大変な一年でしたが「いい時間」を共有できたことに感謝しています。

七区の在り方、在りよう、それぞれの創意工夫を実感しました。そして後継者の生み方、後継者の育て方等々、大変な悩み、苦労も実感しました。全体的に更なる工夫も運用も必要だと思いますが、この町で生まれ、この町で育った次の世代の皆さんに大いに期待したいと思っています。

人口が増え、子供たちの数も増えている、この町の良さをもっともっと伝えていきます。私の長い付き合いのある立川志の輔師匠がいつも言っています。

「人間、囃されたら踊れ」と。

私もこの一年、一生懸命に踊りました。多くの人に担いでもらいながら、感謝です。



福祉健康部会

「地域福祉を共通認識として」

会長 保谷 利信

私ども地域の福祉は、「地域福祉活動計画」に則り事業運営されています。3年に亘る新型コロナとの葛藤も、ようやく新たなコロナとの向き合い方が見えてきました。つながりを途切れさせずに次に伝える、そうした意識で今年度も関連協力団体の皆さんが活動されました。

住民福祉大会は「コロナ禍で考える、生き生き元気な地域づくり」をテーマに酒井講師の講演を頂き、反響が大きく再度の開催になりました。地域たすけあい事業は、それに関わる現状と課題を掘り下げ、高齢者の生活支援にも踏み込みました。子育て支援事業はまめっ子サロン、まめっ子教室を開催し、地区外の方も参加され喜ばれています。

災害時住民支え合いマップの説明会では新たな民生委員さんも加わり、その重要性を認識し今後のマップ作りの予定を確認しました。

そのほか福祉推進員、更生保護女性会、保健補導員、赤十字奉仕団、保護司会、老人クラブ連合会、放課後子ども総合プラン運営委員会、身体障害者福祉協会等の諸団体が活動されおり、事業遂行における課題・問題点については福祉活動計画検討部会で、その状況を見据えて新たな気づきを整理し検討しています。



こうした活動をもっと地域住民の皆さんに理解され、地域福祉の考え方を共通認識として、それに意義を感じ社会参画する担い手が増えるように願っています。

本年度の公民館活動も、本館役員・地域公民館役員の皆様のご支援ご協力を得て、間もなく終えようとしています。

長期戦の with コロナの中、6月に大きな節目となる市立大豆島公民館創立 30 周年記念式典を挙げる。30年の足跡を振り返る中で、改めて公民館活動が果たした役割の大きさや、大豆島愛溢れる大勢の皆様に支えて頂いたからこそ、今の大豆島があると再確認でき、役職員一同、より一層真摯に公民館活動に取り組まなければならないとの思いを強くした次第です。

合言葉「ずくと知恵と汗を出せ」のもと、ゲートボール大会の秋季延期開催、「家族でふれあいウォークラリー」雨天案「防災クイズ&ジャンケン大会」の開催では、新しい行事の形や手法にトライし、今後に向けての手ごたえを得ることもできました。参加者の皆さんの「楽しかった。様々対応に感謝。」等の声は何よりの励ましともなりました。このような成果を得ることができたのも、ひとえに本館・地域公民館の役員をはじめご参加ご協力いただきました皆様のお陰であると、この誌面をお借りして深く感謝申し上げます。



来年度も引き続き、明るく元気で楽しい大豆島の地域づくりの一端を担うべく、取り組んで参りたいと思いますので、どうか変わらぬご支援ご協力の程をお願いいたします。

子ども育成部会

「まめっ子参加行事は3年間中止に」 部会長 山岸 賢一

今年度もコロナ禍のなか、『まめっ子縁日』や『まめっ子新年会』など、子ども達が参加できる行事が中止となり、3年間何も出来なかったことを非常に残念に思っています。そんななか部会では、まず『まめっ子縁日』について過去の内容を参考に、コロナ禍の中どのような内容で実施出来るか、またどんな注意が必要かなどをアンケート形式で部会の皆様に回答いただき、その回答や意見をもとに今後の開催に向け、検討や準備を進めているところです。

その他の活動内容をご報告させていただきます。

◎広報事業：「まめっ子クラブ参加児童募集」(7月)「子ども育成部会だより」(3月)の作成と配布

◎教育講座の開催：大豆島交番の所長さんを迎えて、教養講座を開催(11月)

◎巡回指導の実施：学校の長期休み(春休み・夏休み・冬休み)に7地区の公園、神社、コンビニなどを巡回

◎大豆島小学校との連携：信州型コミュニティスクールに運営委員として参加

◎その他：長野市青少年健全育成フェスティバルや情報交換会など長野市主催行事などに参加



今年の5月にはコロナの感染症を2類からインフルエンザ並みの5類に変更する報道がなされたので、令和5年度は以前のように行事が出来るのではないかと期待しています。ただ今後も感染状況などには注意が必要だと思いますし、対策を施すなどして子ども達との行事が開催出来たらと願っています。

今後も大豆島の未来を担う子供たちの健全育成の為の活動を進めてまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に昨年11月、副部会長の坂田貴子さんが逝去されました。いまだに信じ難い思いですが、生前積極的に部会の活動に参加協力頂いたことに感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

人権同和教育部会

「令和4年度を振り返って」

部会長 北村 清人

本年度計画された事業及び活動は、地域公民館主催の人権教育研修がコロナウイルス感染者数増加により中止した地区があった他は計画どおり実施できました。

◆研修会

6月1日(水)	大豆島隣保館	大豆島隣保館の役割と部落差別解消への取り組み	館長 米山浩史 様
9月1日(木)	多目的ホール	誰もが自分らしく生きる社会にするために	長野市 木内昇 様
9月3日(土)	中央隣保館	隣保館主催：視察研修に参加	

◆11月13日(日) 第51回大豆島地区人権同和教育推進住民大会

大会は、オミクロン株ウイルス新規感染者数が増加傾向の時期に行われました。参加人数・規模共に縮小して開催しましたが、参加された地区の皆様及びビデオによる実践発表・生徒会の実践発表、人権同和教育標語の取りまとめ等対応頂きました大豆島小学校、犀陵中学校に対し厚く御礼申し上げます。

〈大会内容〉

- ・「人権同和教育標語」入選者の発表及び表彰
- ・実践発表 大豆島小学校3年3組 / 犀陵中学校人権委員会
- ・講演会 演題 「やっぱり人権同和教育は大切です！」

講師 長野県同和教育推進協議会 事務局長 清水 稔 先生



◆地域公民館人権教育研修会実施

9月23日(金・祝)	下区公民館	大豆島隣保館の役割と部落差別解消への取り組み
11月20日(日)	松岡公民館	性的マイノリティー(トランスジェンダー他)
12月4日(日)	上区公民館	インターネットと人権問題

☆ウイルスの変異株は弱体化してきていますが、油断しないで行事・施策を工夫して実行していきたいと思えます。

安全防災部会

「令和4年度活動報告」

部会長 前田 敏彦

安全防災部会の組織は、5団体での構成となっています。新型コロナウイルスの影響から中止もしくは縮小して開催せざるを得なかった事業が有りましたが、実施された今年度の重要事業内容を報告致します

◇交通安全協会大豆島支部

全国交通安全運動 春、夏、秋、年末の実施
長野マラソン警備
大豆島小学校交通安全教室
ふれあいウォークラリー参加



◇防犯協力会

年末防犯研修会
各地区年末防犯パトロール
地域安全啓発ポスターの配付

◇防災指導員

消火栓ボックス内器具の点検
大豆島地区防災防災訓練及び年末パトロール



◇消防団大豆島分団

毎月7日「市民防災の日」積載車広報活動
火災予防運動(年5回)の広報活動
大豆島地区合同防災訓練への参加
年末特別警戒の実施
消防用具点検及び放水訓練



◇自主防災会連絡協議会

自主防災会連絡協議会開催(5月、9月)
各地区の初期消火用具の修理・更新
AED 更新の助成
大豆島地区合同防災訓練



※大豆島地区の安心・安全を守るため、各団体の活動に対し今後もご支援ご協力をお願い致します。

大豆島区民の皆様には、日頃より環境美化事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

環境美化部会の事業は皆様のご協力がなければ成り立ちません。地区大掃除・クリーン作戦の実施ごみゼロ運動・そして各区による大豆島公園愛護活動等、マスク着用の義務付けにもかかわらず沢山の皆様に参加いただきましたことにより今年度は何事もなく活動出来ましたことに感謝いたします。

又、常会長様はじめごみステーションの当番さんには、ステーション開閉、掃除、そして後出し・取り残し等の対応にもご足労いただきました。環境美化部会としても、ごみ出しのルールにつきましては逐次回覧にて広報しておりますが、なかなか徹底出来ておりません。今後ごみ分別、出し方等につきましては広報を続けてまいります。

皆様のご協力に感謝しつつ、簡単ですが環境美化部会の報告とさせていただきます。



クリーン作戦



資源再生センターへの搬入

教育文化部会

【神楽保存会】

松岡神楽保存会	春祭り中止 長野市地域文化財総合活用推進事業補助金で獅子頭 2 頭の修復 敬老会中止 秋祭りの奉納 須坂市グループホームへ慰問 (3 年ぶり)
大豆島神楽保存会	毎月第 2・第 4 木曜日夜練習 隣保館芸能祭：子供神楽披露 権白祭：3 社・1 公民館に神楽奉納 住自協新年祝賀会神楽披露
風間神社太々神楽保存会	春季大祭・秋季例大祭で神社と個人宅へ奉納 秋季例大祭ではご供物・御神酒等ふるまいがあり、区民と共に盛大に祝う
東風間神楽保存会	コロナウイルス対策で自粛の中、活動中止

【大豆島甚句保存会】

5 月	長野市文化芸術祭参加	長野市芸術館にて大豆島甚句を披露
6 月	長野市甚句音頭交流会中止	7 月 大豆島甚句まつり中止
11 月	甚句新歌詞 CD 化 第 40 回記念での歌詞募集による新歌詞を CD 制作	

【大豆島原産“巴の錦”普及事業：巴の錦保存会】

4 月	挿し芽講習会	資料配布のみの地区あり
6 月	菊苗頒布会	約 400 本頒布 重陽友の会による苗準備
7 月	定植講習会	8 月 花芽管理講習会
10 月 23 日～11 月 12 日 巴の錦菊花展 (大豆島公園にて)		
研修旅行 (塩釜市菊花会との交流) 中止		



獅子舞披露

※巴の錦菊花展においては支所職員、公民館役員が昨年にも増して積極的な参加もあり、地区内 78 名から 270 鉢の出展がありました。ご協力誠にありがとうございました。そのほか地区内外との交流として菊苗の送付や菊鉢の展示を行いました。また、塩釜市菊花会との交流 (研修会) は今年も中止となり誠に残念でした。



今年度も住自協事業へのご理解ご協力ありがとうございました

